

## 女性懇談会 敦賀発電所を視察

KAKKIN 女性懇談会は6月19日、日本原子力発電(株)敦賀発電所を視察しました。

### ■ 発電所の概要

- ・日本原子力発電(株)は、1957年に設立された原子力発電専門の電力卸売り会社で、茨城県東海村と福井県敦賀市に原子力発電所を持つ。
- ・敦賀1号機（沸騰水型、BWR）の定格出力は35.7万kW。すでに運転を停止しており、2017年から廃止措置工事が始まっている。廃止措置の全体期間は24年である。
- ・敦賀2号機（加圧水型、PWR）は定格出力116万kWで、関西、中部、北陸の各電力会社に電気を供給している。なおこの出力は、北陸電力志賀2号機（135.8万kW、審査中）、関西電力大飯3、4号機（各118万kW）に次ぐものである。現在2号機は再稼働に向け、原子力規制委員会による安全審査が行われているが、敷地内にある断層が活断層か否か、そしてこの断層が原子炉建屋の直下に延びているかが焦点になっている。
- ・敦賀発電所では3、4号機の計画がある（改良型加圧水型、定格出力153.8kW×2基）。2010年3月に敷地の造成は完了したが、東日本大震災により追加の準備工事を一時中断し、現在は現場の維持管理を継続中。

### ■ 発電所の視察

当日は2号機の原子炉格納容器と使用済燃料プール、次いで1号機の原子炉建屋、タービン建屋を視察しました。特に管理区域へも立ち入りの際は、厳重な本人確認と徹底した放射線防護対策がとられており、私たちも白衣を着用したうえで、所定の手袋をつけ、靴下を交換し、靴を履き替えました。そして出るときは逆の手順を踏み、最後に被曝線量のチェックがありました。

なお1号機では制御棒を動かす装置やタービン・発電機が撤去されるなど、廃止措置工事が着々と進んでいました。



女性懇談会メンバーの皆さん（敦賀原子力館にて）



敦賀発電所 2号機